伊丹っ子たち

元・高校球児 夢の甲子園で白球を追う

高校野球の聖地・甲子園への出場を高校卒業後も目指している人たちがいます。田中総司さん（46。**写真中央**）と林真史さん（45。**同右**）、新山征輝さん（29。**同左**）らが所属する伊丹北高校野球部ＯＢチームは、２０１７年にマスターズ甲子園に初めて参加して以来、甲子園出場を目指し続けてきました。

マスターズ甲子園は、全国の高校野球経験者が世代を超えて出身校別にチームを結成し、甲子園出場を目指す大会です。

同大会に挑戦することが同部ＯＢが集まるきっかけになるのではないかと考えた元プロ野球選手の田中さんの呼び掛けにより、20～50代のメンバー約70人が集まりました。

幅広い世代で構成されたチームですが、ひとたびグラウンドに入れば年齢は関係なく、お互い励まし合いながら練習に取り組んでいます。年の離れた先輩と後輩が同じユニフォームを着て練習したり、各世代の練習メニューを共有するのも面白さの一つだそうです。

同チームは今年、兵庫県代表として初めて甲子園に出場します。県代表を賭けた試合で先発投手を務めた新山さんは、「高校時代に感じた緊張感を久しぶりに感じ、手汗が止まらなかった」と振り返ります。

「高校時代には叶えられなかった甲子園出場。家族に同球場で試合を見てもらえるのが嬉しい」と語るのは、役員としてチームをまとめる林さんです。

本来なら高校３年間しか目指せない甲子園出場という大きな目標。チームは来年以降も引き続き同大会に参加し、大人になっても夢を追う楽しさを若手ＯＢにも繋いでいく予定です。

同チームの試合は11月12日㈰午前８時プレイボール、富山県代表と対戦します。入場・観戦は無料。当日は、チームスローガンの「念願の甲子園　全員野球」を掲げ、憧れのグラウンドで白球を追います。

写真ニュース

▶９月27日、市役所は第36回日経ニューオフィス賞「近畿ニューオフィス奨励賞」を受賞しました。同賞は創意と工夫を凝らしたオフィスを表彰する制度で、新庁舎建設をきっかけにさらなる市民サービスの向上と業務改善をした点が評価されました。同賞の受賞は同規模自治体庁舎初となります。表彰状は庁内デジタルサイネージで閲覧できます。

◀市は、食品ロス問題の解消に向けた取り組みの１つ「てまえどり」を推奨します。９月29日、市内スーパーの(株)関西スーパーマーケット、イズミヤ・阪急オアシス(株)、イオンモール(株)へ、「てまえどり」啓発用のレールポップとポスターを贈呈しました。

▶10月５日、明治安田生命保険相互会社から支え合う福祉と健康づくりへの活用を目的とし73万8000円の寄付をいただき、藤原市長から感謝状を贈りました。本市と同社は一昨年、市民の健康維持や増進などの取り組みにおける連携と協力に関する協定を締結しています。

牛腸茂雄 写真展
〝生きている〟ということの証

『SELF AND OTHERS』ⓒHiroichi Gocho

没後40年を迎え、注目を集める写真家の牛腸茂雄さん。牛腸さんが生前に制作した写真集に収録された作品など約200点を紹介。

期間などは次の通りです。

【期間】11月３日～12月24日。

【会場】市立伊丹ミュージアム。

【観覧料】▽一般＝千円▽高校・大学生＝700円▽小・中学生＝400円。

◎関連企画対談「牛腸茂雄のまなざし」 12月２日㈯午後２時、同館で。

牛腸さんの友人で写真家の三浦和人さんと同展企画者の佐藤正子さんとの対談。

定員100人。要当日観覧券。

申11月７日から電話で同館へ。先着順。

◆「柿衛文庫コレクション 一枚摺の魅力」展を開催 11月３日～12月24日、同館１階の展示室１で。

古くから親しまれた貴重な俳諧一枚摺を展示。

観覧料は▽一般＝200円▽高校・大学生＝150円▽小・中学生＝100円。

◎伊丹郷町クラフトショップ「ギフトフェア（左写真）」を開催 11月３日～12月10日、同館で。

アクセサリーや陶器など、贈り物に適した作品を販売。

2023伊丹国際クラフト展「ジュエリー」を開催

11月18日～12月24日、同館地下１階の展示室６で、２０２３伊丹国際クラフト展「ジュエリー」の入賞・入選作品を一挙に紹介します。無料。

◎表彰式 11月18日㈯午後１時。同館１階の講座室で。

当日直接、会場へ。

◎※トークイベント

いずれも同館で。

【今回の審査を振り返る】▽日時＝同日午後２時半▽定員＝70人▽参加費＝無料。

【ジュエリーとデザイン】▽日時＝11月23日㈷午後２時▽内容＝同展２００５年度審査員賞を受賞したジュエリーデザイナーのマロッタ忍さんがジュエリー制作の裏側などを話す▽定員＝40人▽参加料＝１千500円（同展図録付き）。

◎※食べられるジュエリー、マカロニネックレスをつくろう 12月16日㈯午前10時半、同館で。

対象・定員は小学生以上12人。参加料千円（エプロン持参）。

マカロニを染色し、マカロニネックレスを作る。

＊　＊

申※は市立伊丹ミュージアム TEL772・５９５９へ。先着順。

大賞 吉岡優希「neo」

図書館「ことば蔵」秋冬イベント

図書館「ことば蔵」１階交流フロアで、交流イベントを次の通り開催します。

いずれも無料。

【ビブリオバトル中学生大会２０２３（左写真）】11月４日㈯午後１時。市内中学校の代表生徒による学校対抗の知的書評合戦。当日直接、会場へ。

【絵本の帯をつくってみよう！】23日㈷午後２時。絵本の読み聞かせ後、気に入った本を選び「本の帯」を作ります。

対象・定員は、小学生30人（３年生以下は保護者同伴）。

申同館へ。先着順。

【クリスマスツリーをつくりましょう】12月２日㈯午後１時。本の帯やチラシで、段ボールのツリーを作ります。

対象・定員は、小学生以下とその保護者10組。

申11月１日から同館へ。先着順。

◎公募イベントを開催中 同館は、各種作品を**左表**の通り募集します。

詳しくは、同館ホームページ（**下二次元コード**から読み取り可）で確認を。

申応募作品に、住所、氏名、年齢、電話番号（①は書名・著者名も）を書いて、①②④⑤直接か郵送（必着）で〒664・０８９５宮ノ前３―７―４図書館「ことば蔵」（④⑤ファクス784・８１６９と電子申請も可）へ。③同館ホームページから電子申請を。

＊

問図書館「ことば蔵」TEL784・８１７０。

公募イベント一覧

公募イベント	募集作品	締め切り
①第11回 帯ワングランプリ	自作の本の帯	来年１月７日
②第10回 しおりんピック	本に挟む自作のしおり	
③第９回 タイトルだけグランプリ	自分で考えた架空の本のタイトル（本のタイトル15字以内、サブタイトル20字以内、ペンネーム10字以内）	
④第11回 日本一短い自分史	テーマ「あなたと推し」の自分史（題名15字、本文800字以内）	
⑤伊丹俳壇・歌壇	兼題「春の川」の俳句と「2023」の短歌	12月15日

最優秀賞など受賞
2023ガーデンコンペ

９月24日に開催された「ひょうごまちなみガーデンショーin明石」で「ガーデンコンペ・ひょうご表彰式」が行われました。市内の各賞受賞者は次の通り（敬称略）。

【写真部門（コミュニティー・職場）】▽最優秀賞　兵庫県知事賞＝ガーデンファイブ▽最優秀賞　兵庫県議会議長賞＝伊丹市フラワーリーダー同好会和▽優良賞（公財）兵庫県園芸・公園協会理事長賞＝池尻園芸クラブ、伊丹市フラワーリーダー同好会８期生、サポーターズガーデン。

【写真部門（学園）】▽最優秀賞　兵庫県議会議長賞＝学校法人野間幼稚園。

【寄せ植え部門】▽優秀賞　兵庫県土地開発公社賞＝白井喜子。

【単鉢部門】▽審査員特別賞＝笹賀紀子、寺田由紀子、藤原律子。

◎第33回「全国花のまちづくりコンクール」で受賞 市内から次の皆さんが受賞されました。

【花のまちづくり入選（団体）】▽伊丹市フラワーリーダー同好会８期生。

記録（敬称略）

●第35回文部科学大臣杯全日本少年少女けん玉道選手権大会

【小学生の部】▽第３位＝峰元悠志（南小６）。

◆「伊丹一句の日」入賞作品を発表 市立伊丹ミュージアムは、「伊丹一句（19）の日」令和５年４～６月の入賞作品を決定しました。

４～６月の３カ月に計２千977句の投句があり、特選３句、入選55句が決定しました。

各月の特選作品と作者は次の通り（敬称略）。

【４月分】「しゃぼん玉ふはり色なき譜面へと」いたまきし。

【５月分】「緑陰に開く艇庫の設計図」平尾美智男。

【６月分】「包丁は研ぎたてトマトはもぎたて」植木彩由。

入賞作品は、同館ホームページで発表。

問市立伊丹ミュージアム TEL772・５９５９へ。